

## 1. 目的

- 相次いだ運行トラブル等により、公共交通サービスの“根幹”である「安全・安心」に対する市民・利用者の信頼を失墜させた
- 新たな交通局へと生まれ変わり、市民・利用者の信頼を取り戻すため、“安全”の観点から運営全般を抜本的に見直す

## 2. 検討フロー

ポイント

- ✓ “熊本市議会”や“熊本地域公共交通活性化協議会”等での議論を通じて整理
- ✓ 早急な対応が必要なものについては、適宜対策を実施

### 現状分析・課題整理

- 運行、経営、安全対策など運営全般についての現状分析
- 現状分析を踏まえた課題の整理

### 対策の検討

- 各項目における課題への対応
- 短期、中期、長期の各段階に応じた対策の整理
- 対策に要する費用、期間の整理

### 経営・運行形態検討

- 持続可能な財源確保のあり方検討
- 望ましい組織体制の検討

**“熊本市交通局経営計画”に反映**

## 3.検討項目(案)

分類	項目	課題
人	雇用	運転士・技工職が不足
	待遇	運転士(会計年度任用職員)の給与・待遇が低い
	育成	運転士・技工職の技能の維持向上に係る対策が不十分
技工職の補充がなく技術継承が困難		
モノ	軌道	更新計画が未整備であり、老朽化が進行
		専門技術を有する人材不足により、維持管理が不十分
	架線	電柱の更新計画はあるが、進捗しておらず老朽化が進行
		架線の更新計画が未整備であり、老朽化が進行
		職員の経験則にもとづく維持・管理であり明確化が必要
	車両	将来の輸送需要等を見据えた車両更新計画が未整備であり、老朽化が進行
電気設備	更新計画が未整備であり、老朽化が進行	
	職員の経験則にもとづく維持・管理であり明確化が必要	
組織	組織風土	職場の風通しが悪く、職員間のコミュニケーションが不十分
	制度	具備すべき制度・基準・マニュアルが不足
	チェック	組織間の連携、チェック体制の強化が必要
内部だけのチェック体制では信用されない		

実現性を担保するための視点

- ✓ 外部(民間等)との連携
- ✓ 財源確保 等